



2020年5月18日(月)

片岡先生・東先生が語る『世界いちやかましい音』の「面白さ」



東先生

このお話の面白いところはなんといっても、世界でいちばんやかましい町であること
を自まんしていた町の人が、最後には世界でいちばん静かで平和だということを自まん
する町へとガラッと変わったことですね。



片岡先生

東先生が言うように確かにそこですね。こういう風に、「はじめ」と「おわり」が全く
逆のような関係を「対比(たいひ)の関係」っていうんです。



東先生

あ、3年生の時に学習した「つり橋わたれ」も、対比の関係ですね。はじめつり橋を
渡ることができなかったトッコが、「さいご」は渡れるようになっていました。



片岡先生

その通りです。4年生で学習した「ごんぎつね」なんかも「対比の関係」になってい
ますね。作品の面白さっていうのは「対比の関係」に注目するとみえてきますね。



片岡先生

この作品の話にもどします。私は世界いちやかましい町のなかでもとりわけ、
ギャオギャオ王子様のそんざいが面白かったです。そもそも、名前がやかましい。

それはおいといて、面白かったのは、ギャオギャオ王子が「世界でいちばんやかましい
音をききたい」と言ったことによって、なんと、その全く真逆の「自然の美しい音や、
静けさと落ち着き」の素晴らしさに気づいたことですね。



東先生

あ、それも「^{たいひ}対^{かんけい}比^の関^係」じゃないですか。やかましい^{おと}音を^{きく}聞^くくはずが、静^{しずか}かな^{おと}音^のの
すばらしさ^{きづいた}に^{たいひ}気^づいた^{という}、対^{たいひ}比^{です}ね。・・・そう^{かんがえる}考^ええると、ア^あヒ^ひル^なの^{なきごえ}鳴^きき声^えやお^まま
わり^{さん}の^{ふえ}笛^の音^{おと}、と^{しめ}び^らを^{おと}閉^めめる^音も「は^じめ」と「お^わり」では「^{たいひ}対^{かんけい}比^の関^係」にな
っていますね。



片岡先生

さすが^{あずま}東^{せんせい}先生^{です}。では、^{あずま}東^{せんせい}先生^に一^ひつ^{しつもん}質^{もん}問^{して}も^{いい}い^{です}か。何^{なん}で^{この}作^{さく}品^{ひん}の^{だいめい}題^{めい}名^は
「^{せかい}世^界で^{いちばん}い^ちば^んや^かま^{しい}音^{おと}」^{だいめい}という^の題^{めい}名^にし^たの^でし^{ょう}か。「^{せかい}世^界で^{いちばん}静^{しずか}か
^{まち}な^{まち}町[」]という^{さいご}最^ご後^の言^{ことば}言^ばを^{だいめい}題^{めい}名^にし^ても^{よい}い^{と思}い^{ませ}ん^か。



東先生

いや、^{わたし}私^はや^っぱ^りこ^の題^{だいめい}名^がい^いと^思い^ます。「^{せかい}世^界で^{いちばん}い^ちば^んや^かま^{しい}音^{おと}」と
いう^{だいめい}題^{めい}名^と、「^{せかい}世^界で^{いちばん}静^{しずか}かな^音」^{だいめい}という^{くらべて}題^{めい}名^を比^べて^みると^{・・・}。



片岡先生

お^とと^とと。今^{きょう}日^はこ^こま^でに^して^おき^まし^{ょう}。

^{さくひん}作^{さく}品^の面^{おも}白^ろさ^{をしる}を^{しる}知^るに^は「^{たいひ}対^{たいひ}比[（]たい^ひ）^がら^っと^かわ^って^いる^こと」^{ちゅうもく}に^{ちゅう}注^{もく}目^{する}
と^{おも}白^ろさ^の説^{せつ}明^{めい}が^しや^すい^とい^うお^はな^し話^でした。今^{いま}ま^での^{きょう}教^{きょう}科^か書^{しょ}の^{さくひん}作^{さく}品^をよ^みか^えし^て
み^てみ^てみ^てみ^てみ^て。た^くさ^ん「^{たいひ}対^{たいひ}比[」]が^ある^と思^いま^す。



では、この^{つづき}続^きは^{がっこう}学^が校^でで。